



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

R I テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

クラブテーマ

心はひとつ One for all, all for one

「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

2021-2022

第 24 回例会

会 報

No. 1172

豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：齊藤伸明、副会長：平野正博、幹事：水谷朱美、出席・会報委員長：坂牧博美

令和 4 年 3 月 2 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA

担当：公共イメージ向上

国歌「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：居平 文孝 さん

ゲスト 大谷左官 代表／特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラム 理事長 大谷 忠興 氏

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	2 月 9 日修正出席率	ビジター
52 名	46 名	6 名	15 名	67.39%	97.92%	1 名

会長挨拶

齊藤 伸明 会長

先日、国連安全保障理事会でウクライナの国連大使が黙祷を呼び掛ける場面がありました、黙祷は全世界共通で Moment of silence または silent prayer と言い、各々の信じる宗教や宗派に関係なく祈る時に用いられます。日本国内で黙祷が浸透したのは、関東大震災の 1 年後にあたる慰霊祭で、これ以後、毎年行われると共に、他の事件・事故・災害などの発生日の祥月命日の同時刻に黙祷をする習慣が全国的に広まったそうです。

本日のプログラム

『特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラムの活動と理念』

大谷左官 代表

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム 理事長
大谷 忠興 氏

平素は朝倉川育水フォーラムにご協力頂きありがとうございます。発足は高度成長期後の、環境に目が向けられた時でした。今のように市民を巻き込むのではなく、環境保全の為、蛍を増やす活動をしてきました。平成 7 年の設立以来、私たちは、「治水、利水、親水を経て多様な植物や生物を宿す水を育む為に、人や社会が出来る事を少しずつでも積み重ねていく」との理念に基づいた活動を大切にしています。この理念を「育水」とし、活動してきました。水を育み、生物が暮らす環境を作れば、街中の環境も良くなる。それが出来る人作りを内包し「育水」と考えます。「育水」は我々が作った造語で商標登録しています。共感される自治体もあり、山梨県は育水の日を定め、愛媛県の西条市とは共同利用協定を結んでおります。私共は「蛍の飛び交う人里作り」の活動をしています。私共のロゴにゲンジボタルのマークがあり、これは蛍を増やすことで、自



然と都市との共生のシンボリックな存在、且つ、川を綺麗にして町を綺麗にとの理念の象徴です。蛍は環境指標生物として判り易い存在で、幼虫の時は川、蛹になる時地上に、そして、子孫を残す為に空気中に舞いますので、水、地面、空気が良くないと蛍は増えません。蛍が光るのは相手を見つめる為ですが、町は明るく相手が見つけられません。蛍はカワニナを食べますが綺麗な川にしか住めませんので、川を綺麗にしないといけないのです。私共は 530 大会を 20 年以上続けています。最初は 50t あったのが、去年は 1t になりました。併せて、朝倉川へのメッセージを募集しています。主に小中学生からですが、大人も何か感じてもらえたらと思います。次に植樹メンテナンス大会。5 年で 4 万本超を植えて、メンテナンスをしています。植樹で、緑の回廊が出来た事で、住宅街の光を遮ることが出来、蛍が増えていきます。又、上流にビオトープがあり、ここには希少生物が沢山いて学生が環境学習をしています。又「川ガキ」食べる牡蠣ではなく、川で遊ぶ子どもを増やしたいと思います。このような活動に市民を巻き込む事は難しいですが、コツコツと活動し、まだまだ上げたいと思っています。

5 分間スピーチ

満田 稔 さん

ウクライナ問題は大変です。ウクライナ人もロシア正教信者で、信者同士が対立するのです。豊橋ウクライナ協会の女性が、「助けて」と豊橋ハリストス正教会に来ました。教会は、兄弟喧嘩に口を挟む事は出来ない。又、教会で了承していない集会に、取材が来るところでした。問題は長引き、ロシア経済は落ち込みます。女性を返した事に心を痛めました。信徒が平和の大切さを訴えていく事になりました。



原稿：角園 清 さん／写真：山内 朝貴 さん